

Denka

2016年度 決算説明会

2017年5月10日

1. 2016年度 決算概要

- | | |
|---------------|------|
| ① 前年比(まとめ) | P. 1 |
| ② 前年比(増減要因) | P. 2 |
| ③ 前年比(セグメント別) | P. 3 |

2. 2017年度 業績予想

- | | |
|----------------------|------|
| ① 前提条件等 | P. 4 |
| ② 前年比 | P. 5 |
| ③ 前年比(増減要因) | P. 6 |
| ④ 前年比(セグメント別) | P. 7 |
| ⑤ 四半期別予想(概算) | P. 8 |
| ⑥ (参考)株主還元・投資関連数値の推移 | P. 9 |

1. 2016年度決算概要 ①前年比(まとめ)

単位:億円

Denka

	実績	前年	増減	主な増減要因
売上高	3,626	3,699	▲ 72	エラストマー・機能樹脂 ▲33 インフラ・ソーシャルソリューション ▲3 電子・先端プロダクツ 10 生活・環境プロダクツ ▲7 ライフイノベーション ▲10 その他 / 消去差 ▲5
(海外売上高の割合)	(39.0 %)	(37.5 %)	(+ 1.5 %)	
営業利益	258	306	▲ 48	← ▲ 48
(営業利益率)	(7.1 %)	(8.3 %)	(▲ 1.2 %)	為替差損減少・受取配当等 (▲36 → ▲27)等 + 9
経常利益	232	270	▲ 39	← ▲ 39
				法人税減、有価証券売却益増等 (▲75 → ▲50) + 26
純利益	181	195	▲ 13	← ▲ 13

1. 2016年度決算概要 ②前年比(増減要因)

Denka

売上高 3,626 (▲ 72)

単位:億円

- ① 数量差 : エラストマー機能樹脂、電子先端製品、検査試薬等 (+192)
- ② 価格差 : 円高・原料安に応じた石化系製品の売価改定 (▲ 264)

営業利益 258 (▲ 48)

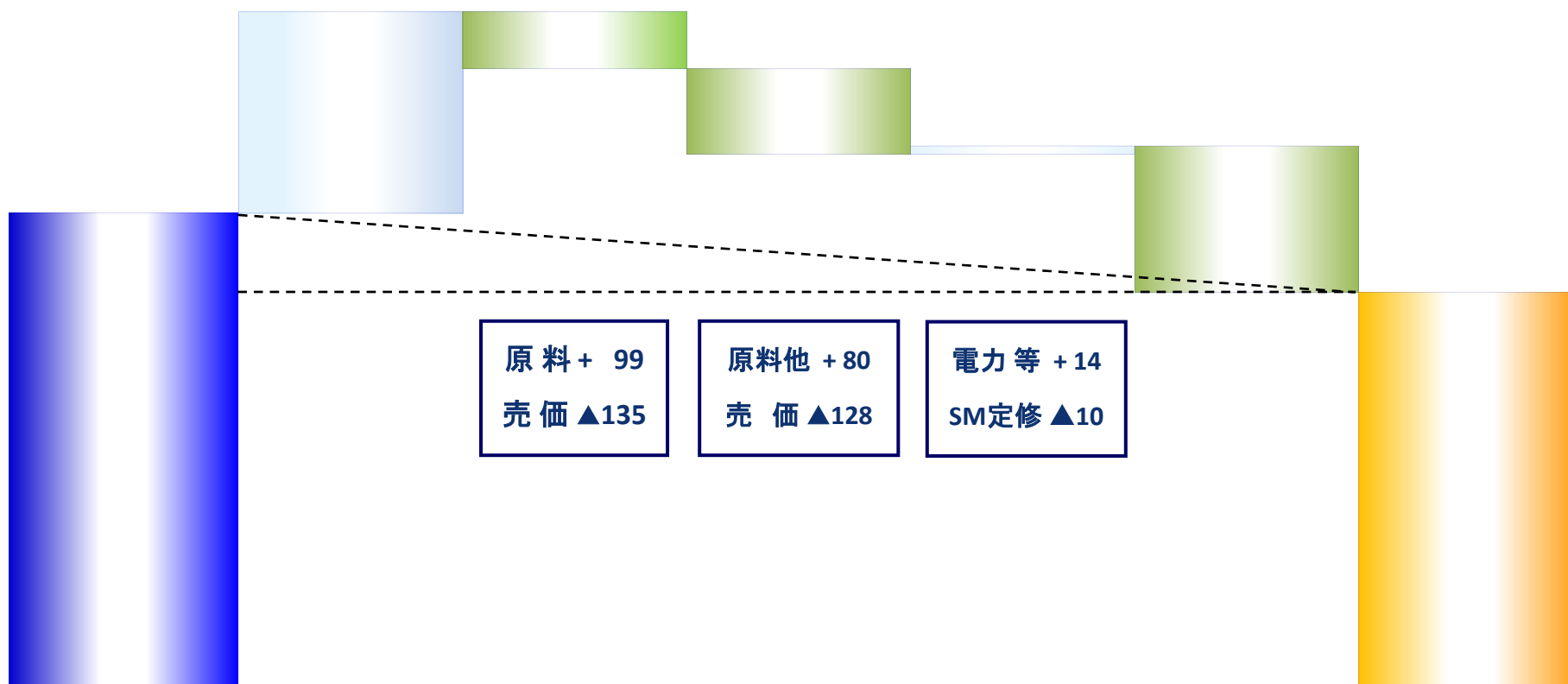
- ① 数量要因 : 米国CR・蛍光体・機能フィルム・検査試薬他 (+ 116)
- ② スプレッド(縮小) : 原燃料 + 99 < 売価 ▲135 (▲ 36)
- ③ 為替影響(円高) : 原料他 + 80 < 売価 ▲ 128 (▲ 49)
- ④ コスト要因 : 電力・ユーティリティ負担減 (+ 14)
: SM定修 (▲ 10)
- ⑤ 先行投資負担等 : 海外展開(含米国CR固定費)・研究開発 他 (▲ 83)

1. 2016年度決算概要 ② 前年比(増減要因)

Denka

単位: 億円

2015年度	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資負担等	2016年度
306	+ 116	▲ 36	▲ 49	+ 4	▲ 83	258



1. 2016年度決算概要 ③前年比(セグメント別)

単位:億円

Denka

売上高	実績	前年	増減	販売価格差	数量差	
エラストマー・機能樹脂	1,517	1,556	▲39	▲174	135	
インフラ・ソーシャルソリューション	518	534	▲15	▲7	▲8	
電子・先端プロダクツ	463	457	6	▲40	46	
生活・環境プロダクツ	412	438	▲26	▲33	7	
ライフイノベーション	340	314	27	▲9	36	
その他	377	401	▲24	—	▲24	
合計	3,626	3,699	▲72	▲264	192	
営業利益	実績	前年	増減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	78	110	▲33	▲174	69	73
インフラ・ソーシャルソリューション	9	12	▲3	▲7	▲6	9
電子・先端プロダクツ	71	61	10	▲40	36	15
生活・環境プロダクツ	15	23	▲7	▲33	▲5	31
ライフイノベーション	79	89	▲10	▲9	27	▲27
その他 / 消去差	7	12	▲5	—	▲5	0
合計	258	306	▲48	▲264	116	100

2. 2017年度業績予想 ①前提条件等

単位: 億円 

前提条件	2017年度	2016年度
為替レート [円/\$]	110.0	108.8
国産ナフサ [円/Kg]	43,000	34,600

2017年度 第2四半期 予想	2016年度 第2四半期 実績
110.0	107.3
43,000	31,550

参考数値	2017年度	2016年度	増減
投資	340	269	71
設備投資	300	257	43
M & A 他	40	12	28
減価償却費	250	244	6
研究開発費	150	130	20
有利子負債残高	1,120	1,137	▲ 17

2017年度 第2四半期 予想	2016年度 第2四半期 実績	増減
210	110	100
170	104	66
40	6	34
120	121	▲ 1
75	65	10
1,220	1,257	▲ 37

2. 2017年度業績予想 ② 前年比

単位：億円

Denka

	2017年度 予 想			2016年度 実 績		
	4～9月	10～3月		4～9月	10～3月	
売上高	4,000	1,900	2,100	3,626	1,718	1,908
営業利益	300	125	175	258	98	160
(営業利益率)	(7.5%)	(6.6%)	(8.3%)	(7.1%)	(5.7%)	(8.4%)
経常利益	280	125	155	232	74	157
当期純利益	210	95	115	181	61	120

2. 2017年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位:億円 

売上高 4,000 (+ 374)

- ① 数量差: 電子先端製品をはじめとして全セグメント増 (+196)
- ② 価格差: CR及び石化系製品の原料高に応じた価格改定 (+178)

営業利益 300 (+ 42)

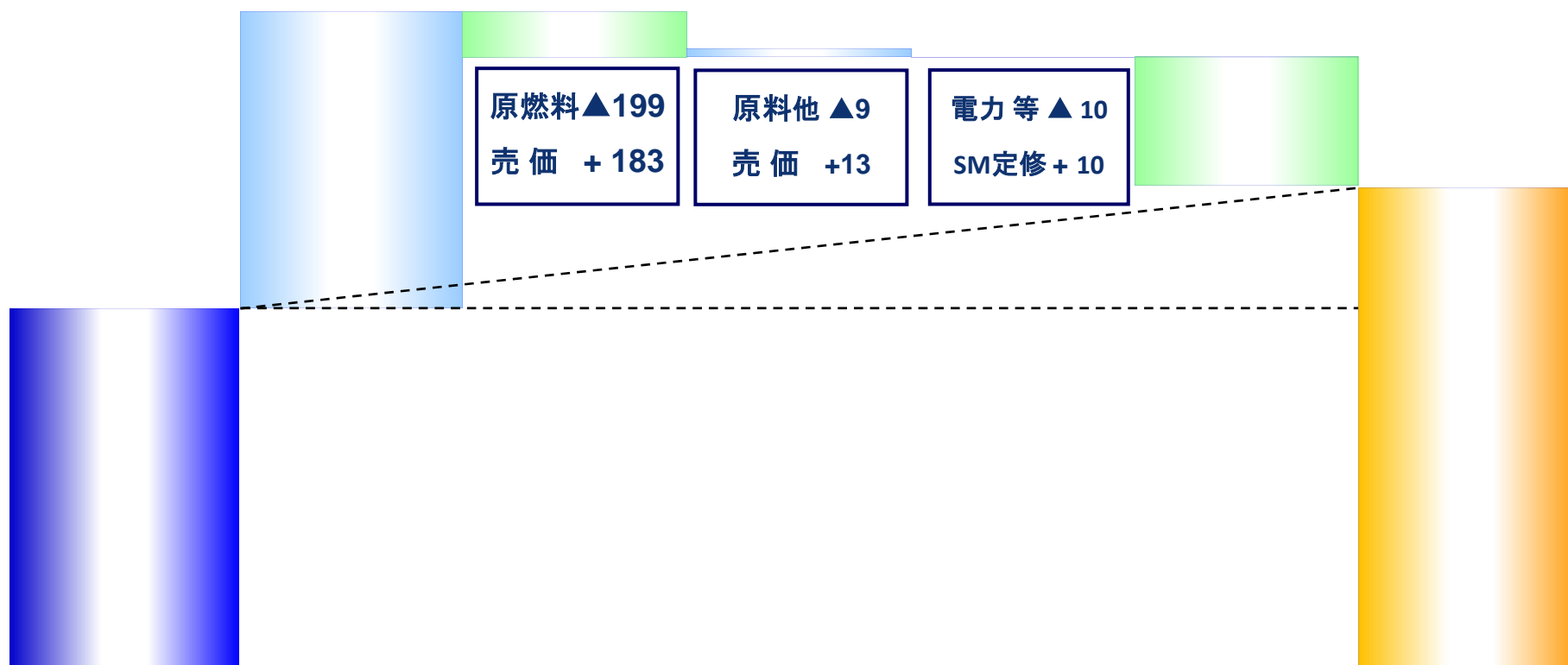
- ① 数量要因 : 電子先端製品ほか全セグメント (+102)
- ② スプレッド(縮小) : 原燃料 ▲ 199 > 売価 +183 (▲ 16)
- ③ 為替影響 : 原料他 ▲ 9 < 売価 + 13 (+ 3)
- ④ コスト要因 : 電力・ユーティリティ負担増 (▲ 10)
: SM非定修年 (+ 10)
- ⑤ 先行投資負担等 : 販売数量増に伴う固定費増、
研究開発他 (▲ 48)

2. 2017年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位: 億円

Denka

2016 実績	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資 負担等	2017 予想
258	+102	▲16	+ 3	± 0	▲48	300



2. 2017年度 業績予想 ④前年比(セグメント別)

単位:億円 Denka

売 上 高	2017年度 今回予想	2016年度 実績	増 減	販売価格差	数 量 差	
エラストマー・機能樹脂	1,720	1,517	203	200	3	
インフラ・ソーシャルソリューション	540	518	22	▲11	33	
電子・先端プロダクツ	530	463	67	▲10	77	
生活・環境プロダクツ	450	412	38	23	15	
ライフイノベーション	360	340	20	▲6	26	
そ の 他	400	377	23	—	23	
合 計	4,000	3,626	374	196	178	
営 業 利 益	2017年度 今回予想	2016年度 実績	増 減	販売価格差	数 量 差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	105	78	27	200	18	▲191
インフラ・ソーシャルソリューション	10	9	1	▲11	18	▲6
電子・先端プロダクツ	90	71	19	▲10	49	▲20
生活・環境プロダクツ	20	15	5	23	7	▲25
ライフイノベーション	70	79	▲9	▲6	12	▲15
そ の 他 / 消 去 差	5	7	▲2	—	▲2	0
合 計	300	258	42	196	102	▲256

2. 2017年度業績予想 ⑤ 四半期別予想(参考・概算)

Denka

単位:億円

営業利益			上期			下期	年度
	1Q	2Q		3Q	4Q		
2017年度予想	40	85	125	105	70	175	300
2016年度実績	43	55	98	89	71	160	258

2. 2017年度業績予想

⑥(参考)株主還元・投資関連数値の推移

Denka

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 予想
当期純利益 (億円)	136	190	195	181	210
1株当り配当 (円/株)	10.0	※ 12.5	13.0	14.0	14.5
配当額 (億円)	47	57	58	62	63
配当性向	34 %	30 %	30 %	34 %	30 %
自己株取得 (億円)	30	37	38	29	
総還元額 (億円)	77	94	96	91	
総還元性向	56 %	50 %	50 %	50%	50 %
減価償却額 (億円)	223	230	232	244	250
設備投資・投融资額 (億円)	278	260	380	269	340
ROE	7. ⁴ %	9. ⁶ %	9. ³ %	8.³ %	

※ 普通配当 10.⁵ 円・記念配当 2.⁰ 円

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。